

クレブシエラ・パーフリングENS由来の $\alpha(2-3,6,8)$ ニューラミニダーゼ、組換え

Cat. No. NATE-1277

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 ノイラミニダーゼ酵素は、ノイラミン酸のグリコシド結合を切断するグリコシド加水分解酵素 (EC 3.2.1.18) です。ノイラミニダーゼ酵素は多くの生物に見られる大きなファミリーです。最もよく知られているノイラミニダーゼはウイルス性ノイラミニダーゼで、インフルエンザ感染の抑制を防ぐための抑制ターゲットです。ウイルス性ノイラミニダーゼは、インフルエンザウイルスの表面に見られる抗原決定因子として頻繁に使用されます。インフルエンザノイラミニダーゼのいくつかの異体は、ウイルスに他のものよりも高い病原性を与えます。他のホモログは哺乳類細胞に見られ、さまざまな機能を持っています。

別名 神細胞酸化酵素; シアリダーゼ; α -神細胞酸化酵素; アセチル神細胞酸化酵素; エクソ- α -シアリダーゼ; EC 3.2.1.18; 9001-67-6

製品情報

種	クロストリジウム・パーフリングENS
由来	E. coli
形態	50 mM NaCl、20 mM Tris-HCl (pH 7.5 25°C)、および5 mM Na ₂ EDTA。
分子量	43 kDa
純度	> SDS-PAGEによって95%決定される
活性	~225,000 ユニット/mg
濃度	50,000 ユニット/ml
単位定義	1単位は、1 nmolのNeu5Ac α 2-3Gal β 1-3GlcNAc β 1-3Gal β 1-4Glc-7-amino-4-methylcoumarin (AMC)の末端 α -Neu5Acを95%以上切断するのに必要な酵素の量として定義され、37°Cで5分間、総反応体積10 μ lで行われます。

保管・発送情報

保存方法 -20°Cで